

報道機関各位

～**食の専門家が考える「北九州市のすし」とは？**～
「すしの都 北九州市」職員向け講習会を開催します！

「すしの都課」が新設されて9か月が経過し、取組の認知度が高まる中、市の職員自ら「北九州市のすし」の魅力を市内外に広く情報発信できるよう、市職員向けの講習会(第2回目)を開催します。

今回は、これまでのすしの都の取組を紹介すると共に、市内の様々なすし店を食べ歩き、自身のSNSでレビューを公表している食の専門家・柏原光太郎氏に、他の地域と異なる魅力をもつ「北九州市のすし」についてご講演いただきます。

前回も多くの職員が集まりメディア取材が入るなど大好評だった講習会です。ぜひ、取材方よろしく願います。

記

○講習会概要

- 1 名 称：「すしの都 北九州市」職員向け講習会
- 2 日 時：令和8年2月4日(水) 15:30～17:00
- 3 会 場：北九州市男女共同参画センター・ムーブ 大セミナールーム
(小倉北区大手町11-4)
- 4 対象者：北九州市職員及び関連団体職員(約60名)
- 5 内 容：①ガストロノミーツーリズムについて
②「すしの都」の取組について
③食の専門家から見た「北九州市のすし」
- 6 講 師：①③北九州市参与(食の魅力戦略担当)柏原光太郎氏 ②市職員

○参考 別紙1：柏原光太郎氏参与就任リリース資料

【問合せ先】

都市ブランド創造局 すしの都課

担当：大浦、徳田 TEL：093-482-1950

令和 7 年 5 月 1 日
北九州市都市ブランド創造局

報道機関 各位

～「美食のまち 北九州」を目指して！～
北九州市参与（食の魅力戦略担当）が就任します！

北九州市では、「稼げるまち」「彩りあるまち」を実現していくため、令和 7 年度より「すしの都課」を新設し、すしをきっかけに北九州市の食全般の認知度向上、磨き上げ、活性化を推進し、国内外から多くの方に来ていただける「美食のまち 北九州」を目指しています。

このたび、戦略的かつ効果的に事業を推進していくため、一般社団法人 日本ガストロノミー協会会長の柏原 光太郎氏に北九州市参与（食の魅力戦略担当）に就任していただくこととなりました。

食に関する幅広い人脈や深い知見を持った柏原氏にアドバイスをいただきながら、「美食のまち 北九州」を加速化させていきたいと考えております。

記

■氏 名 柏原 光太郎（かしわばら こうたろう） 氏

■経 歴 別紙のとおり

■勤務形態

委 嘱 名 ： 北九州市参与（食の魅力戦略担当）

勤務形態 ： 非常勤

委嘱期間 ： 令和 7 年 5 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日（延長可）

■市における役割

1. 「美食のまち北九州」の推進に向けての戦略的なアドバイス
2. 北九州市への食のツアー造成についてのアドバイス
3. 北九州市の食の魅力の発信方法についてのアドバイス
4. 他都市との連携についての提案・仲介 等

【問合せ先】

都市ブランド創造局すしの都課

担当：大浦、徳田

電話：093-482-1950

柏原 光太郎(かしわばら こうたろう) 62 歳

一般社団法人日本ガストロノミー協会会長
食の熱中小学校校長
ガストロノミープロデューサー



<経歴>

1963年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部を卒業後、株式会社文藝春秋に入社。「週刊文春」「文藝春秋」「オール読物」編集部を経て「文春文庫」編集長、デジタル戦略事業局長、新規事業開発局長などを務め、「文春オンライン」、「文春マルシェ」の立ち上げを行った。

2018年、スペインのバスク州サンセバスチャンにある食の社交倶楽部「ソシアダガストロノミカ(美食倶楽部)」を日本に立ち上げようと「一般社団法人日本ガストロノミー協会」を設立、会長に就任。有名シェフ、生産者、地方自治体などとイベントを行い、食の多角的な楽しみを行うハブのような存在として活動。また2023年より生産者と消費者をつなぐための大人の学び舎「食の熱中小学校」の校長を務めている。

食べログでは「グルメの著名人」としてフォロワー5 万人以上。「JB プレス」「味の手帖」「食ベログマガジン」など多数のメディアに執筆するほか、メディアサイト「note」にて飲食業界のキュレーションを毎日行い、外食産業関係者とのつながりも深い。東京都、三重県、富山県、大阪府、山形県、福井県、山梨県等でガストロノミーツーリズムに関する多くの講演を行っている。著書に『ニッポン美食立国論』、『東京いい店はやる店』がある。

同氏は、「寿司といえば、富山」のブランディング戦略を行っている富山県の「とやまふるさと大使」を務め、寿司店舗の発掘や魅力等の情報発信を行っている。折しも、北九州市の「すしの都課」新設に伴い、富山県でも「すしの都」に関する取組が紹介され、武内市長と富山県の新田知事の交流が始まっている。

北九州市については、自身の著書内で市内店舗を紹介するなど、北九州市の料理人や店舗についても知識を持っており、北九州市の寿司の魅力にも注目いただいている。昨年度北九州市で開催された「すしの都北九州協議会」主催の講演会「ガストロノミー in Kitakyushu」(R7.1.20)で講演し、本市の今後の政策についての提案もいただいた。

※ガストロノミーとは

その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しむこと、食文化に触れること。